

### いわきにサテライトキャンパスを設置 ときわ会常磐病院と連携協定を締結

本学は、4月よりいわき市のときわ会常磐病院内に本学初のサテライトキャンパスを設置します。

サテライトキャンパスの設置により、長崎大学との共同大学院である「災害・被ばく医療科学共同専攻（修士課程）」のカリキュラムの一部を、いわき市で学ぶことが可能になります。本大学院は、災害、被ばく医療の専門家を養成することを目的としています。浜通りでは、いまだ東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の影響が続いており、このコースの受講を希望される方も多くおられます。しかし、浜通りでの勤務後に、中通りにある本学に通うに

は距離的、時間的にも制約が多く、現実的には入学が出来ない方が多いのではないかと問題がありました。

今回、サテライトキャンパスを設け、テレビ会議システムを利用することで、いわき市で共同大学院の授業を受講できる体制が整いました。（実習などは従来通り本学で受講いただきます）これによりこれまで以上に入学の門戸を広げることができると考えています。

なお、サテライトキャンパスの設置場所については様々な検討の結果、ときわ会常磐病院に決定し、病院内の部屋をお借りすることで、開設の

運びとなりました。

本サテライトキャンパスを設置するにあたり、3月19日（木）に本学S101会議室において、連携協定締結式を開催しました。ときわ会グループ会長兼公益財団法人ときわ会理事長 常盤 峻士（ときわみちお）様をお迎えし、本学竹之下理事長との間で、協定書を交わしました。式の席上、竹之下理事長は、ときわ会様のご協力でサテライトキャンパスが開設できることにより、いわき市においても広く大学院受講の門戸を開くことができることに謝意を表明し、ときわ会様と協力して医療人の育成に力を注いでいくことを約束しました。



調印式の様子  
常盤 峻士 ときわ会グループ会長兼公益財団法人ときわ会理事長（右）と竹之下 誠一 理事長

### 医学部同窓会より、卒業生5名に 令和元年度「光が丘賞」を贈呈

毎年度末に医学部同窓会より贈られる卒業時表彰「光が丘賞」の表彰式が、3月24日（火）、7号館大会議室において開催されました。

「光が丘賞」は、学業識見に優れた者、スポーツ、芸術及び課外活動で特筆すべき成果を挙げた卒業生を褒賞することを目的としており、将来本学の発展に寄与することが期待されると認められた学生に贈られるものです。

令和元年度は、成績優秀者として福田浩史さん、安藤博貴さん、吉野正人さんの3名。課外活動において特筆すべき成果を上げた者として遠田晶生さん、中田敬さんの2名の計5名が表彰対象者として選ばれました。遠田晶生さんは軟式野球部に6年間所属し主将を務めたほか、東医体での準優勝という成績を残しました。また、中田敬さんはボート部に

6年間所属。東医体団体準優勝の成績に加え、後輩の指導にも力を発揮し、新人を優勝に導くという成果も挙げました。また二人とも福島県の医療の充実に貢献する強い意志を持っていることも評価の理由とされました。

表彰式には、福島県農協協会館診療所長で医学部同窓会長を務める重富秀一先生、本学 竹之下誠一理事長、大戸斉総括副学長、竹石恭知医学部長、大平弘正医学部同窓会副会長が出席。

重富先生からは「福島県の医療の充実に若い力を存分に発揮してほしい」と期待の言葉が贈られ、竹之下理事長からは「これからもチャレンジを忘れずに」とエールが贈ら



### 本学の新型コロナウイルス感染症対応の情報を 取りまとめました

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が都市部を中心に急速に拡大しています。本学が、この感染症の拡大防止と予防に対し積極的な行動を起こすことは当然の責務です。万一、福島の医療の拠点である本学附属病院の機能縮小や医療スタッフの自宅待機などが生じると、福島の医療崩壊を招きかねません。私たちはこの状況に無関心でいることは許されません。

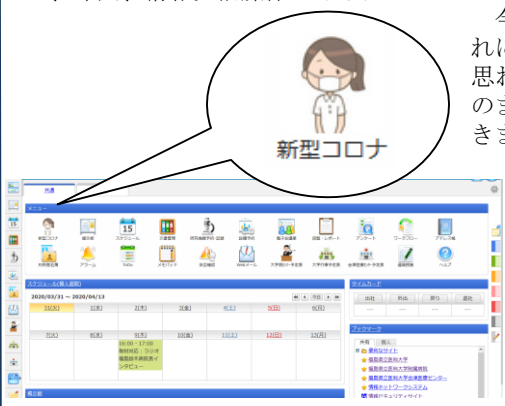
そこで本学では学生、教職員すべての皆さんを対象に、感染拡大を防止するための行動制限やイベント自粛などの要請を、適宜、お送りしています。それらのメッセージができるだけ他の情報に埋もれることなく、目立つように、今回、情報発信媒体であるデスク

トップページに、新型コロナウイルス感染症対応の情報をまとめたコーナーを立ち上げました。

デスクトップについては、トップページの最上部、「メニュー」の一番先頭に「新型コロナ」というアイコンを設けました。これをクリックすることで新型コロナウイルス関連の情報をひと固まりにして閲覧できます。

また、ホームページについても、トップページスライドバナーの上に専用のテキストバナーを設置しました。同じく、新型コロナウイルス感染症への対応について大学が発信したメッセージを、ターゲットごとに分けて閲覧ができるようになっています。

今後も時々刻々と状況は変化し、それに応じて対応も変わってくるものと思われま。出来るだけ頻繁にこれらのまとめサイトの情報をご確認いただけますよう、お願いいたします。



### 本学研究者グループが、「新型コロナウイルス流行時のこころのケア」（日本語版）を公表

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的な猛威を振るい、日本のみならず世界の人々の不安が増大しています。このような不安に対し、適切な対応を行うためのブリーフィング・ノート（覚書）として「新型コロナウイルス流行時のこころのケア」がIASCから公表されました。IASCは災害や紛争など緊急時に人道支援や精神保健・心理社会的支援などに関与する複数の国連機関の間で連携、調整を行う常設の委員会です。

ブリーフィング・ノート「新型コロナウイルス流行時のこころのケア」は各国語に翻訳され公表されていますが、その日本語版については、本学の研究者グループ（災害こころの医学講座 前田正治教授、瀬藤乃

理子准教授、健康リスクコミュニケーション学講座 村上道夫准教授、竹林由武助教）がIASCの許可を得ていち早く翻訳、作成しました。

日本語版は本学ホームページからもアクセスできます。メンタルヘルスと社会的支援の原則や国際的に推奨される活動などを概観し、高齢者、障がいを持つ方々、子ども、感染対応のために働く方々など対象別に支援の在り方について解説しています。関心のある方はぜひご覧ください。

なお、今回公表されたブリーフィング・ノートはVersion 1.5です（2020年3月17日現在）。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行が続く間は定期的に更新される予定とのことです。

**理事長からのメッセージ**

新型コロナウイルス感染症拡大防止と予防のために

**感染が疑われる場合**

- 感染が疑われる症状とは [@](#) (福島県ホームページへリンク)
- 感染が疑われる症状がある場合の対応フロー図 [@](#) (福島県ホームページへリンク)
- 感染が疑われる場合の連絡先 [@](#) (福島県ホームページへリンク)
- 感染症の予防等に関する相談窓口 [@](#) (福島県ホームページへリンク)

**学生の皆様へ**

- 医学部 新2年生の皆様へ [@](#) (2020年3月31日)
- 医学部 新3年生の皆様へ [@](#) (2020年3月31日)
- 医学部 新4年生の皆様へ [@](#) (2020年3月31日)
- 医学部 新5、6年生の皆様へ [@](#) (2020年3月31日)
- 4月からの授業について [@](#) (2020年3月27日)
- 新型コロナウイルス感染症に関する教育研修支援課へ [@](#)
- 福島での待機について [@](#) (2020年3月27日)
- 部活動、サークル活動について [@](#) (2020年3月27日)
- 海外渡航の自粛について [@](#) (2020年3月19日)

**新入生の皆様へ**

- 令和2年度医学部新入生オリエンテーション及び遠隔授業
- 令和2年度福島県立医科大学入学式の中止及び新入生オリエンテーションの中止

**附属病院の患者さん、ご家族、関係者の皆様へ**

- 面会禁止のお知らせ [@](#)
- お電話等による処方箋の交付について [@](#)

本学ホームページから  
<https://www.fmu.ac.jp/univ/daigaku/topics/20200330.html>

